

Ⅱ 暮らしの向上

10 エネルギー政策の推進

主担当部局長名
地域振興部長 村田 崇

目指す姿

地域における様々な取組主体が、生活や産業活動において再生可能エネルギー等の利活用を促進するとともに、省エネ・節電に取り組むことで、県内のエネルギー自給力の向上を目指します。

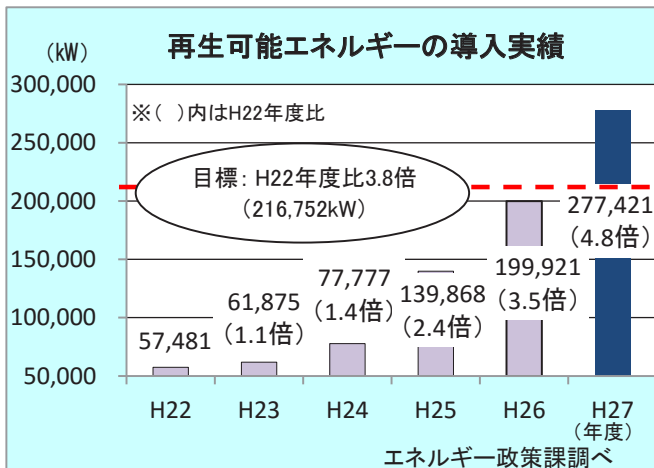


木質バイオマス発電所(大淀町)

これまでの成果

- ・節電協議会の枠組みを通じての平成27年夏と冬の節電キャンペーンの実施や、年間を通じた奈良の節電スタイルの提案等により、電力使用量は平成22年度比14.8%減となり、目標値の平成22年度比5%減を達成しました。
- ・バイオマス発電の導入実績について、県の融資制度の活用等により、平成27年12月に大淀町内に発電所が完成し、設備容量は平成24年度の7,290kWから、平成27年度には13,790kWとなりました。
- ・家庭用燃料電池の導入実績について、県の補助制度の活用等により、設備容量は平成24年度の6,000kWから、平成27年度には9,632kWとなりました。

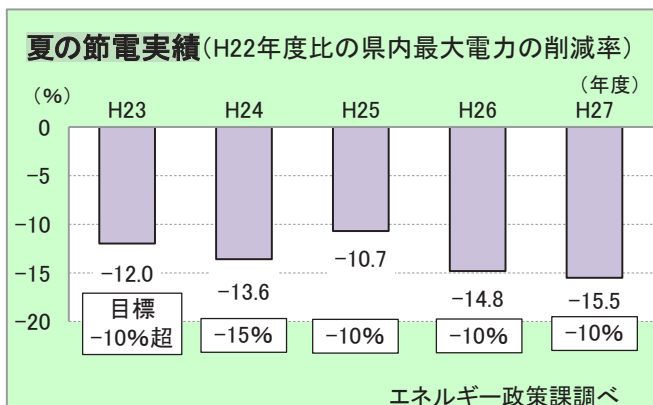
1. 政策目標達成に向けた進捗状況



目標	平成27年度の再生可能エネルギーの設備容量を平成22年度比の3.8倍を目指します。(H22年度: 57,481kW→H27年度: 216,752kW)
取組	再生可能エネルギーの導入を促進しました。
成果	国の再生可能エネルギー固定価格買取制度や、県のスマートハウス普及促進補助等の活用により、再生可能エネルギーの設備容量は平成22年度比4.8倍まで進捗し、目標値の平成22年度比3.8倍を達成しました。

2. 戦略目標達成に向けた進捗状況

戦略目標	①平成27年度の太陽光発電の設備容量を平成22年度比の4倍を目指します。(H22年度: 49,985kW→H27年度: 202,155kW) ②奈良の節電スタイルの推進に取り組む、年間を通じて、より電力を使わないライフスタイルへの変換を目指します。
------	---



取組	夏の節電キャンペーンを実施しました。(②)
成果	節電協議会による節電目標の設定や、夏季節電キャンペーン等啓発活動実施等により、平成27年度夏季の節電実績は、最大電力が平成22年度比で15.5%減となり、目標値の平成22年度比10%減を達成しました。 ※最大電力: 1時間当たりの電力量が、期間中で最大になった時点の値(単位: kWh)